

第3章 糖尿病の基礎 2 セルフ学習問題 問題

1. 糖尿病の診断

定義：糖尿病は、(①)作用の不足による慢性の高血糖状態を主徴とする代謝疾患群である。

()を埋めよ。

「糖尿病型」とは。下記に数値を記入せよ。

空腹時血糖値 (②) mg/dL 以上、75g 経口ブドウ糖負荷試験 (oral glucose tolerance test : OGTT)

2時間値 (③) mg/dL 以上、随時血糖値 (④) mg/dL 以上のいずれか

HbA1c は (⑤) %以上

糖尿病の診断について。○×を選択せよ。

初診日、空腹時血糖が 145mg/dl、HbA1c7.6%。糖尿病と診断した。⑥ (○ ×)

初診日、随時血糖が 312mg/dl、糖尿病性網膜症を認めた。糖尿病と診断した。⑦ (○ ×)

初診日、HbA1c9.2%。来院1月前に他院で HbA1c8.8%を指摘されている。糖尿病と診断した。⑧ (○ ×)

2. 糖尿病の分類

糖尿病は成因(発症機序)と病態(病期)の両面から分類される。()を埋めよ。

1. (⑨) 糖尿病 2. (⑩) 糖尿病 3. その他の糖尿病 4. (⑪) 糖尿病

3. 1型糖尿病について。()を埋めよ。

1型糖尿病の分類の内、

劇症型 血糖値 \geq (⑫) mg/dl かつ HbA1c < (⑬) %、抗 GAD 抗体は陰性、尿中 C ペプチド < 10ug/日、空腹時血中 C ペプチド値 < (⑭) mg/ml、かつグルカゴン負荷または食後 2 時間血中 C ペプチド < 0.5mg/m

緩徐進行型 1 型糖尿病 経過のどこかで (⑮) 抗体は陽性、ただちには高血糖是正のためのインスリン療法が必要とはならない。経過とともにインスリン分泌能が徐々に低下する。

糖尿病の診断後 3 か月を過ぎてからインスリン療法が必要となり、最終観察時点で内因性インスリン欠乏状態 空腹時血中 C ペプチド値 < 0.6mg/ml である。

2型糖尿病について。○×を選択せよ。

2型糖尿病の初期では、インスリン基礎分泌の低下・遅延が認められる。⑯ (○ ×)

2型糖尿病の病歴聴取では、家族歴・生活歴・服薬歴・嗜好品・身体活動など幅広い確認が必要である。。⑰ (○ ×)

その他の糖尿病 その他の機序、疾患によるもの。()内を埋めよ。

遺伝因子として遺伝子異常が同定されているもの(膵 (⑱) 機能にかかわる遺伝子異常、インスリン作用の伝達機構にかかわる遺伝子異常)、他の疾患にかかわるもの、(⑲) 外分泌疾患(膵炎、膵外傷、膵癌など腫瘍) 内分泌疾患、薬剤性、感染症等。薬剤性としてはステロイド投与による高血糖の他、(⑳) の一部には劇症型を含めた急性発症の 1 型糖尿病症例報告があり、留意が必要である。